

## ディプロマ・ポリシー

---

研究科において所定の単位を修得して、以下の学位授与の方針に適う能力を備えるに至った者に学位を授与する。

- (1) 智をいつくしむ力、すなわち、深く広範な知識、論理的思考力及び科学的根拠に基づいた高度な看護実践能力を生み出すために、看護の知を表現し、智に変えることができる。
- (2) 人をいつくしむ力、すなわち、人々の多様な価値観を理解し、他者を尊重したケアリングコミュニケーションを通して、リーダーシップ・メンバーシップ能力を発揮することができる。
- (3) 命をいつくしむ力、すなわち、高い倫理観を有し、患者・家族及び地域の人々をアドボケートして、健康な時期から疾患罹患、そして終末期まで、地域での暮らしや看取りを見通した高度な看護実践ができる。
- (4) 臨地体験を科学的根拠や理論を活用して洞察し、暗黙知から形式知を生み出すことができる。
- (5) 病院・施設・地域のあらゆる場において、患者・家族及び地域の人々を生活者の視点でとらえ、住み慣れた地域において QOL の高い生活の営みを支援するための研究と高度な実践に結びつけることができる。
- (6) 地域包括ケアシステム構築・推進の要となり、さらに、保健行政において健康政策提言およびその政策化ができる。

## カリキュラム・ポリシー

---

研究科のカリキュラムは、ディプロマ・ポリシーを達成するため以下のような視点を重視して構成する。

- (1) 智をいつくしむ力、すなわち、深く広範な知識、論理的思考力及び科学的根拠に基づいた高度な看護実践能力を生み出すために、看護の知を表現し、智に変えることができる力を特に養成するために、領域を横断する「共通科目」と「選択科目」を配置する。
- (2) 人をいつくしむ力、すなわち、人々の多様な価値観を理解し、他者を尊重したケアリングコミュニケーションを通して、リーダーシップ・メンバーシップ能力を発揮する力を特に養成するために、領域を横断する「共通科目」と「選択科目」を配置する。
- (3) 命をいつくしむ力、すなわち、高い倫理観を有し、患者・家族及び地域の人々をアドボケートして、健康な時期から疾患罹患、そして終末期まで、地域での暮らしや看取りを見通した高度な看護実践ができる力を特に養成するために、領域を横断する「共通科目」と「選択科目」を配置する。
- (4) 看護実践者がもつ臨床経験を科学的根拠や理論を活用して洞察し暗黙知から形式知を生み出すことで、智・人・命を探究する能力を特に養成する科目として、看護の智探究領域に「総論」、「特論」、「演習」、「特別研究」を配置する。
- (5) 病院・施設・地域のあらゆる場において、患者・家族および地域の人々を生活者の視点で捉え、住み慣れた地域において QOL の高い生活の営みを支援するために、智・人・命を探究する能力を特に養成する科目として、地域生活支援探究領域に「総論」、「特論」、「演習」、「特別研究」を配置する。
- (6) 地域包括ケアシステム構築・推進の要となり、さらに、保健行政において健康政策提言およびその政策化ができる保健師を養成するために、保健師コースに、保健師国家試験受験資格を獲得するのに必要な単位の他に、実践力を強化する狙いで「実習」の単位を増置する。

## アドミッション・ポリシー

---

### [ 基本方針 ]

研究科では、学校教育施行規則第 155 条第 1 項第 8 号の規定に基づいて、4 年制大学の卒業生のみならず、短期大学及び専修学校の卒業生で一定の条件を満たす者には、個別の入学審査を行い、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる場合には、出願資格を与え、学習意欲を持つ人々に修学の門戸を広げている。本研究科の教育目的、教育目標を達成するために、以下をアドミッション・ポリシーとし、それに沿った学生を求める。

- ①人への温かな関心と看護実践への情熱を持ち、看護学発展の一翼を担う自覚を持つ人
- ②自己の経験を内省し、主体的、自立的に学問的探究に努力できる人
- ③様々な現象を科学的根拠及び知識や理論を活用し論理的に考えることができる人
- ④住み慣れた地域においてQOLの高い生活の営みを支援するために地域包括ケアシステム構築の中心的役割を担う看護職として社会貢献に意欲のある人
- ⑤地域住民の健康に関心を持ち、個人、家族、集団、地域における複雑化・顕在化した健康問題の明確化とその解決に向けた実践を通して、将来保健師として社会貢献する意欲のある人